

1982 (毎月1回)  
発行

1月号

(村の面積)

332.60km<sup>2</sup>

発行所 福井県大野郡和泉村

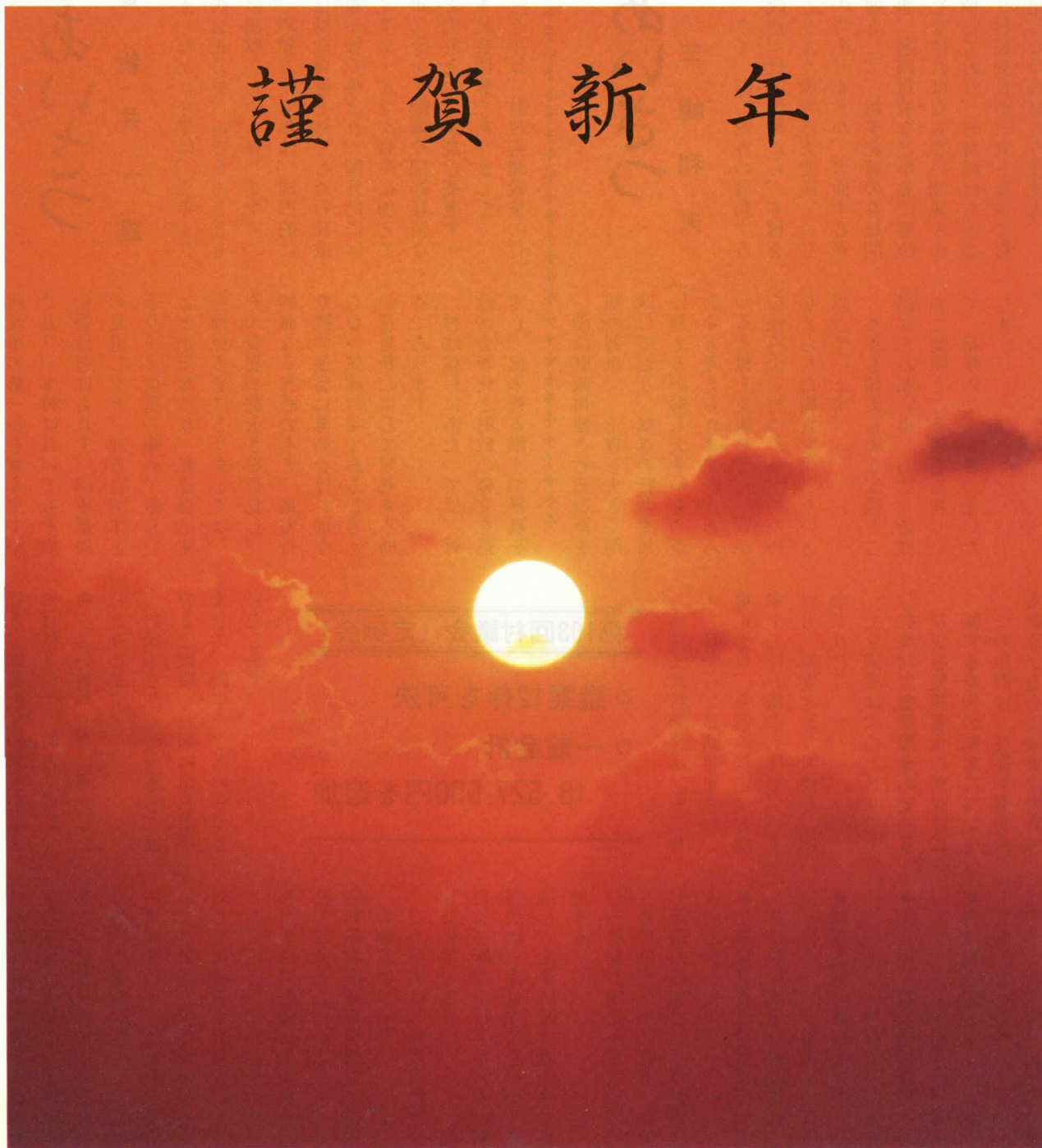
# 広報 いずみ

(昭和56年12月1日現在)

村の人口

総人口	1,453人
男	736人
女	717人
出生	1人
死亡	0人
転入	14人
転出	6人
世帯数	457世帯

## 謹賀新年



“みんなで越美北線を利用しよう。”

# 新年のごあいさつ

和泉村長 新井一雄

村民のみなさん、あけましておめでとうございます。

みなさんには、ご健健で、

輝かしい新春をお迎えになり  
ましたことと拝察し、心からお喜び申し上げます。

昨年、雪国に生まれた私達も、かつて経験したことの  
ない豪雪の中で新年を迎え、  
雪に明け、雪に暮れる毎日、  
正月気分には浸ることなく終り

## 新年のごあいさつ

議長 三嶋利夫

新年あけましておめでとう  
ございます。

新春を迎え、村民皆様のご  
健康を心よりお喜び申しあげ  
ます。

昨年は昭和三十八年以來の  
記録的な豪雪に見舞われ、大  
変苦しい経験をいたしました  
が、これ乗り越えて明日へ  
の飛躍を願うものであります。

ましたが、今年は、二年ぶり  
のお正月を、みなさんととも  
に満喫したいと存じます。

昭和五十六年は、国内的に  
は財政再建を柱とした行政改  
革が強く叫ばれ、国外的には  
イラン・イラク戦争に加えて  
ポーランド問題や国際経済な  
ど内外ともに深刻な憂慮すべ  
き社会情勢でありました。

今年、財政再建政策の行

さて、国の内外の激動する  
政治、経済情勢から、本村を  
とりまく環境は大変厳しいも  
のであります。当面する課  
題として、越美北線の存続問  
題、過疎対策など早急に解決  
しなければならぬ問題が山  
積しており、村当局はもとよ  
り村民全員が一丸となって対  
処しなければなりません。

政改革の第一歩を踏み出す年  
であり、本村においてもその  
影響は避けられず、国庫補助  
の見直しなど、地方自治体を  
とりまく情勢の極めて厳しい  
ことが予想され、私達自治体  
を預かる者にとりましては、  
その責務の重大さを自覚し、  
的確なる判断のもと、地方行  
政の運営に努めなければなら  
ない試練の年であると考え  
決意を新たにしてお受けする所  
存であります。

村政執行にあたっては、行  
政の合理化と財政の確立を迫  
求し、出来得る限りの無駄を  
減らしてまいります。

国は財政再建と行政改革を  
錦の御旗に、予算を大きく削  
減しており、私達の社会生活  
に与える影響も大きいものが  
あると考えられますが、あら  
ゆる苦難を克服して、「豊か  
な住みよい村づくり」のため  
与えられた職責を果たしたい  
と思っております。

本年も相変らぬご支援とご  
協力をお願い申しあげ、皆様  
のご健勝とご多幸をお祈りし  
て、新年のごあいさつといた  
します。

省き、住民福祉の向上を最大  
の目標として、明るく豊かで  
住みよい村づくりに専念した  
いと存じます。

村民みなさんの一層のご協  
力とご理解をお願い申し上げ  
まして、新年のごあいさつと  
いたします。

### 第103回村議会（定例会）

- 議案12件を可決
- 一般会計  
18,527,000円を追加

けに関する法律及び同法施行  
令の規定に準拠し、暴風豪雨  
などの自然災害により死亡し  
た村民の遺族に対して弔慰金  
の支給を行い、また自然災害  
により被害を受けた世帯主に  
対して援護資金の貸付けを行  
うことよって、村民の福祉  
及び生活の安定に貢献するこ  
とを目的としている。

#### ◎和泉村産業振興調査会条例の制定について

この条例は、和泉村に適合  
した産業の振興について、調  
査及び研究を行うもので、調  
査会は、委員十名をもって組  
織し、庶務は産業観光課で処  
理する。

#### ◎一般会計補正予算(第四次)

今回は、一千八百五十二万  
七千円の追加で、主な内容は  
次のとおりです。

- 工事請負費(前坂ポンプ庫及び防火水そう移転費外) 五百四十二万円
- 給与改定に伴う人件費 三百八十二万円
- 需用費(修善費外) 三百四十四万円
- 備品購入費(トレーニングスキーセット外) 百九万円

第百三回村議会は、十二月  
十六日から二日間招集され、  
補正予算、条例の制定など議  
案十二件と報告二件を、い  
ずれも、原案どおり可決し、閉  
会された。

主な議案は次のとおりです。

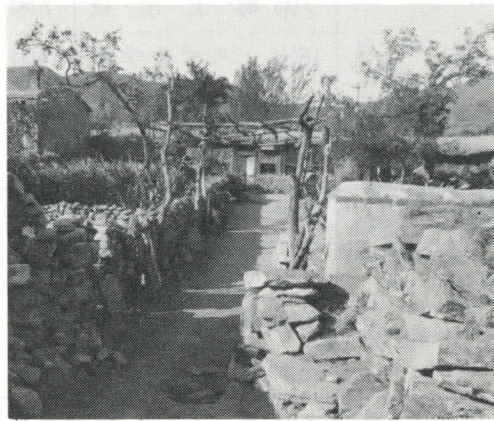
#### ◎和泉村災害弔慰金の支給及び災害援護資金の貸付けに関する条例の制定について

この条例は、災害弔慰金の  
支給及び災害援護資金の貸付



# 錦州を旅して (旧満州) …その(2)

杉本とみ子



(九頭竜開拓本部)

次に学校視察に出かけた。

ここでは、幼稚園から中学校まで全部そろって、幼稚園へ行くと、質素な中国服を着た若い女の先生が、すり切れた板切に二タス一は三、三タス四は七と書いて教えていた。どの子も、この子もはきはきと答えていた。

子供達は、自然のままに日に焼けて真黒な顔をしていたのが、とても可愛らしくちんまりとしていて目が生き生きとしていた。算数の時間が終ると、今度は上手に唄ったり

踊ったりして遠来の客を心から歓迎してくれた。

工場と学校の見学が終るとお昼は公社の食堂で、県長さんや社長さんを始め団長が招待した太郎さんとおばあさんそして隣りのおばあさん達を含めて招待の宴が開かれた。公社での料理は味が上手で近海でとれたハマグリが、とくにおいしくお代わりが出たくらいで、バンドをゆるめて大笑いいたしました。

本場での中国料理は、いつでもどこで食べてもおいしかった。

女なら日本のおんな、世界で一番おいしいのは中国料理などと言われているとか……：：：珍らしいサンザシの酒（ジュースみたいな味）、おいしい中国ビール、飲む程に、酔う程に歌が自然に出たりして日中友好の楽しいひとときであった。

最後に「別れる時はつらいけど仕方がないんだ君の為」を唄って、畿度も手を振りながら皆さんに別れを告げた。ふたたび土ぼこりの中を旅のポイントである九頭竜開拓本部へ向った。ここはかつて満もう開拓団として入植された石徹白、田下穴馬、大野市などの方々が住んでおられた所で、ほとんどの人がこの錦州で終戦を迎えられたと聞いている。

本部へ着くと下口さんや高橋さん達が懐かしそうにあたりを見回しておられた。三十六年前とちつとも変わっていないと下口さんが言っておられたが、本部には現在二世帯の家族が住んでいた。

私達は昔ながらのたたずまいを見て、思わず「原始の家」と叫んでいた。家、へいなど

全てが土で造られていて、一軒の家が八畳ぐらいで三つに仕切られていた。中へ入ると土間になっていて、大きなお釜が二つでんと置かれ、その反対側には大きなつぐら（わらを編んで作った器）があり中には自留地で造られたと思われるサツマイモ、ピーマンなどが入っていた。さらに中へ入っていくと片方が家族の寢床で一段と高いところがあり、反対側にはテーブルが一個ぼつんと置かれていた。

まきはコーリヤン（とうもろこし）のからで、冬は煮炊きする煙で暖をとるようになっていた。いわゆるオンドル式（床下に煙突を通して、火をたく暖房装置）になっていた。煙突がどこの家でもついていたが、昔は煙突などなくて話していた。

ただ、トイレには困った。外の囲いだけで中には戸もなくだだ仕切っただけで、本場に初めは戸惑いました。それに、水は洗面器やおけなどにくんである程度で大変貴重で、衛生設備の完備している日本をしみじみありがたい

と思いました。昔はトイレなどなく野外で済ますと、ブタがみんな食べて始末してくれなそうです。

また、ここら辺りには風呂がなく水や湯でふく程度だという、かつてその昔、満もう開拓団の方々が、ここ満州にあこがれて「せまい日本にあ住みあいた、波の彼方に支那がある。支那には四億の民がある」などと希望に満ちて海を渡って来たことでしょう。

満州に来て見ると、あまりの貧しさとつらさに赤い夕陽が広野に沈むころになると、クワを杖に遠いふるさと日本をしのんで泣いた日もあったことであろう。満州の農民達は、日本人に対してとても親切だったという。ただそれだけが心の救いであったことでしょう

次に本部から太郎さんの家を訪ねた。

次号へつづく

おわび

先月号の「錦州を旅して」の中で、文華と掲載されていたのは文華の間違いでしたので訂正します。

# 《冬季各種成人学級プログラム》

中央公民館

	朝日分館	後野分館	大納分館	下山分館	中竜分館
1月		7(木) 郷土学級	7(木) カルタ会		
	14(木) 着付教室 午後1時～3時	16(土) よろずや学級	14(木) 謡曲、お勤め会	10(日) 村政懇談会	
	24(日) 手芸教室 午後1時30分～4時	21(木) 料理教室	21(木) 救急法	19(火) 修養講座	
2月	31(日) 民芸教室 午後2時～4時	28(木) 健康教室	31(日) 料理教室	24(日) 着付け講座	24(日) 卓球大会
	7(日) 料理教室、ウサギ狩り 午前7時30分～午後3時	4(木) 民踊教室	4(木) 謡曲、お勤め会	7(日) 兎狩り、室内スポーツ	7(日) スキー大会
	15(月) ペン習字教室 午後7時～9時	11(木) 民踊教室	11(木) 毛筆教室	14(日) 雪上運動会	
	21(日) お花教室 午後2時～4時30分	18(木) 民芸教室	18(木) 体力テスト	21(日) 着付け講座	
3月		25(木) 映画学級	28(日) 雪上運動会	27(土) 修養講座	28(日) 麻雀大会
	1(月) 三味線教室 午後1時～3時	4(木) 農業講座	4(木) 謡曲、お勤め会	5(金) 農林業講座	
	未定 ヨガ教室 午後2時～4時	11(木) スポーツ教室	11(木) 電気教室(知識)		
	未定 講演会 午後2時～4時	18(木) 音楽教室	20(土) 閉講式	14(日) 着付け講座	
その他	22(月) 閉講式・料理味自慢大会 午前10時～午後2時	25(木) 料理教室 閉講式		21(日) 修養講座	
	着付	1/21、28、2/11、3/4 午後7時～9時	◎時間 午後1時～4時	◎時間 午後7時～9時	◎時間 午後1時～4時
	手芸	2/6、17、23 午後7時～9時			◎時間 午前9時～ 午後4時
	民芸	2/14、26、3/7 午後2時～4時30分			
	ペン習字	1/11、18、2/1、3/15 午後7時～9時			
三味線	1/12、26、3/9、16 午後7時～9時				



◎平野まさえ(新)  
(川合 ☎:二六二八)

**新人権擁護委員決まる**  
十二月一日付で次の方々  
新人権擁護委員として、私  
たちの人権が侵害されていな  
いかどうかを監視していただ  
くことになりました。  
人権に関する困りごと、心  
配ごとなどがありましたら、  
なんでもお気軽に近くの人権  
擁護委員にご相談してくださ  
い。



久美子ちゃん

▼赤ちゃん誕生  
番屋 久美子  
喜久男(長女) 上大納

人のうごき

◎長岡 昇一(再)  
(上大納 ☎:二七〇一)

**各種スキー大会日程**

◎県 体  
(雁ヶ原スキー場)  
一月十六日(土)～十七日(日)

◎村民スキー大会  
二月七日(日)

◎九頭竜スキー選手権大会  
二月十四日(日)

**冬季成人学級に  
ふるってご参加を!**  
公民館では、一月から冬季  
成人学級を上記の予定で開催  
いたします。  
冬の日長をこの学級に参加  
して、仲間と語り合い、楽し  
みながら生活の知恵を身につ  
けましょう。